

はやし ぼうじろ
林・坊城遺跡について考える

■ 1 林・坊城遺跡について

所在地：高松市林町（高松中央インターチェンジ付近）

調査年度：高松東道路 ……昭和63年（1988年）

四国横断自動車道高松市内区間……平成8年（1996年）予備調査

9・10年（97・98年）本調査

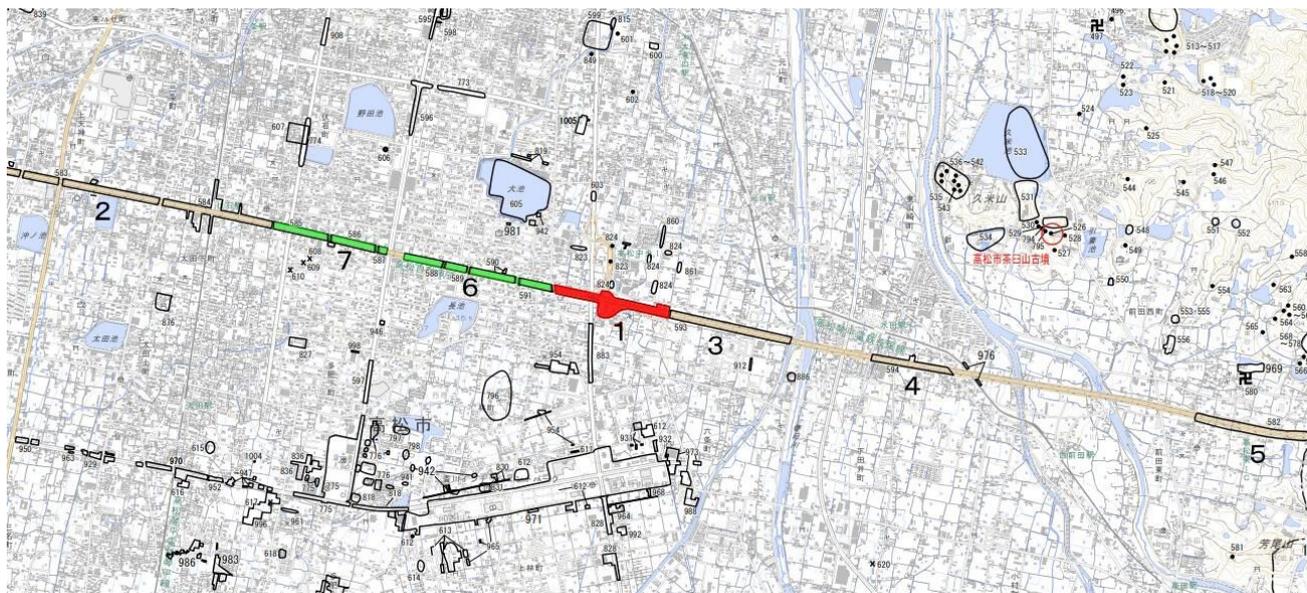


図1 林・坊城遺跡と周辺の遺跡

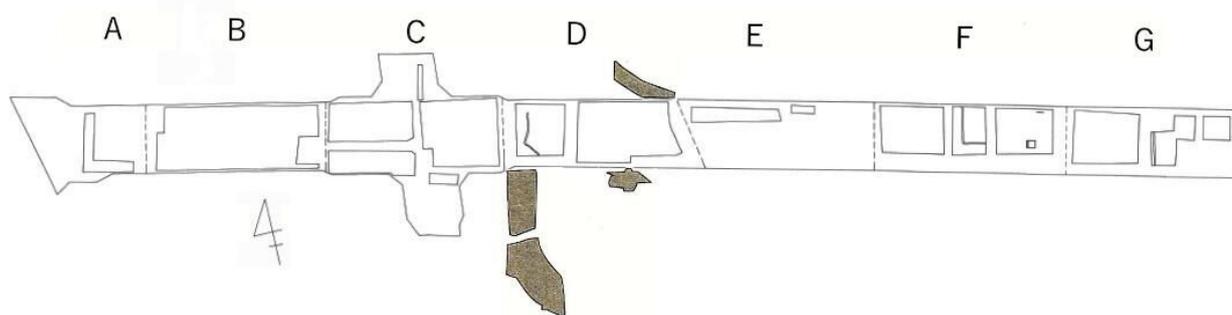


図2 林・坊城遺跡の調査区割（白：S63年度、黒：H9・10年度）



写真1 SR01 流路A



写真2 木器等出土状況

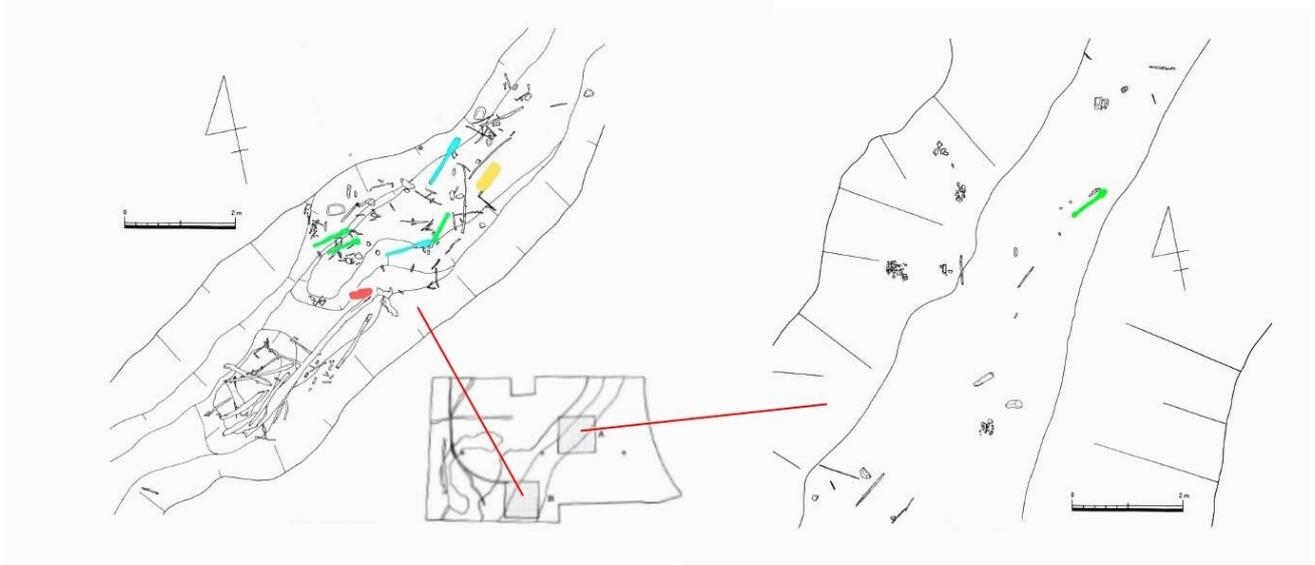


図3 SR01 流路A 主な木器の出土状況図



- 1 諸手鋤 38.5×9.4センチ アカガシ亜属
- 2 えぶり (未製品)
55.2×17.8センチ アカガシ亜属
- 3～5 手鋤
58.6～72.8×4.3～7.4センチ アカガシ亜属
- 6・7 手鋤 (未製品)
87.6～97.0×8.4～9.6センチ アカガシ亜属

写真3 農具とみられる木器



写真4 円形周溝墓 (弥生時代後期)

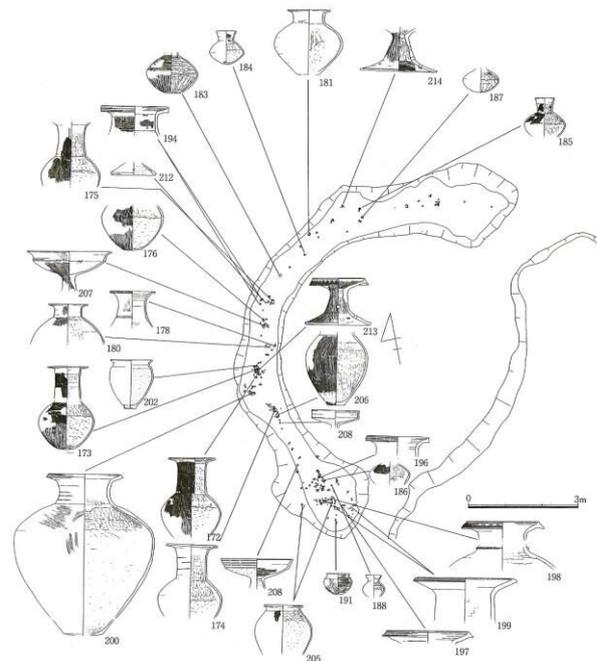


図4 周溝内出土の土器



図5 H9・10年度調査の遺構配置図



写真5 凸帯文期の建物跡



写真6 堅果類貯蔵穴



写真7 弥生時代中期の竪穴建物跡



写真8 弥生時代後期の周溝墓跡

■ 2 縄文時代晩期～弥生時代前期の稲作について

【水田稲作の考古学的な証拠】

- ・水田（水路・井堰など）
- ・農具
- ・収穫具
- ・米（花粉化石・プラントオパールなど）

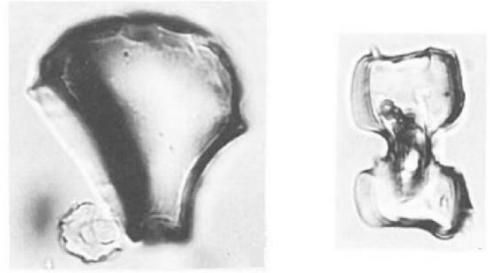


写真9 珪酸体の顕微鏡写真
(左・イネ、右・キビ)

【県内の水田遺構】

川津下樋（かわつしもどい）遺跡（坂出市川津町）

四国横断自動車道（高松～善通寺間）建設に伴う調査 平成2・3年度（1990・91年度）
弥生時代前期の井堰跡、水田跡を確認

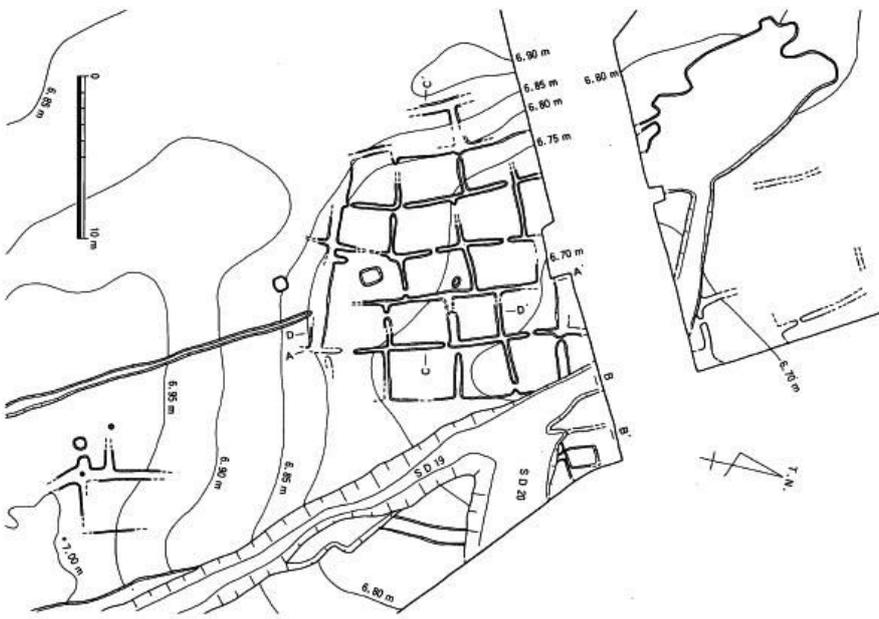


図6 弥生時代前期の
小区画水田

浴・長池（さこ・ながいけ）遺跡（高松市林町）

高松東道路建設に伴う調査 平成元～3年度（1989～91年度）
縄文時代晩期の木器、弥生時代前期の水田跡を確認

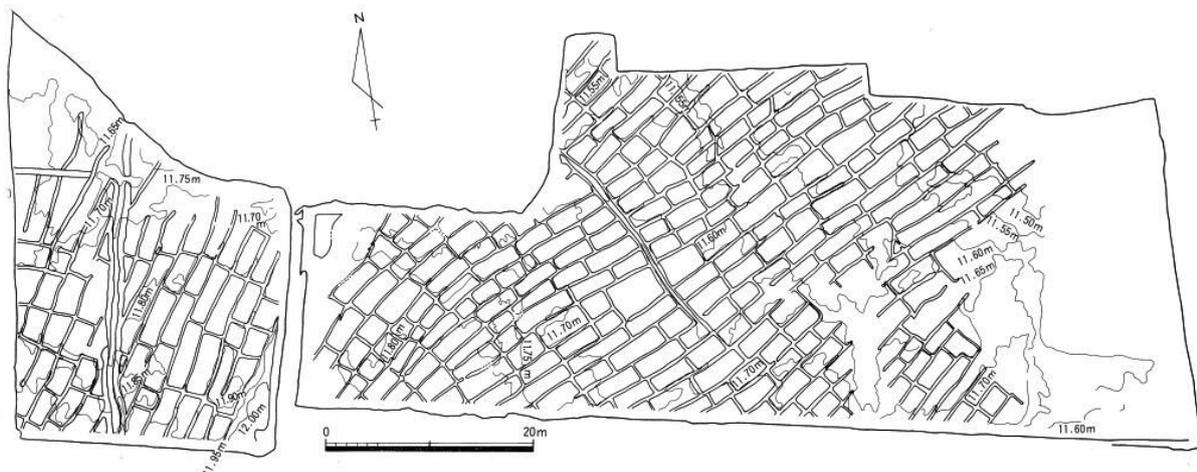


図7 弥生時代前期の小区画水田